

一般社団法人 沖縄県臨床検査技師会

令和4年度 第10回理事会議事録

開催日時：令和5年1月11日（水）19：00～20：00

場所： 沖臨技事務所（Web 併用）

（参加者） 手登根稔会長、山城篤副会長、山内恵副会長、田盛仁事務局長、国仲伸男理事、
喜納はるみ理事、金城正樹理事

（Web 参加者） 宮里泰山副会長、登川雅子理事、喜舎場良香理事、原国督理事、我如古靖理事、玉城正幸
理事、立津千絵理事、牧志輝理事、花木美香理事 八幡照幸離島担当理事、仲宗根雅司理事、瀬戸司連盟
支部長（招聘）

（欠席者） 宮城和文理事、與那嶺淳理事

（書記） 登川雅子理事

<議題>

1. 沖臨技より

1) 第57回沖縄県医学検査学会最終報告

・参加者数：196名（クレジット決済169名、銀行振り込み27名）（会員190名（県外2名）、非会員3
名、学生3名）

・参加費合計：375,968円

（田盛事務局長）銀行振込で指定の金額ではない入金をされた方が2名いた。後日手渡して返金予定
これから参加者を日臨技システムへの登録する予定

（手登根会長）思った以上に少ない もっと若い方に試聴をしていただきたかった。

・終始決算は後日

・第58回沖縄県医学検査学会は現地開催を予定 日程は7月2日（日）で決定 前日は記念式典（7月1
日）予定。会場は、琉球大学医学部を仮押さえずみ。第58回沖縄県医学検査学会の大会長を宮里副会長、
実行委員長を山内副会長、事務局長を田盛事務局長とする推薦があり承認された。

2) 令和4年度（第38回）沖縄県医師会精度管理調査報告会について

・開催日：2月26日（日）沖縄県医師会館3Fホール 12：00～17：30

参加者：発表者・解析員など関係者中心で行う。各施設からは1人限定参加を予定（医師会と収容人数
を話し合い中）。全部で80人ほどを予定。

・後日オンデマンドで配信予定 ライブ配信はしない。

・教育講演「IS015189を活かした教育と課題」

講師：九州大学病院 検査部 副技師長 清祐 麻紀子 先生

清祐先生は26日当日来沖予定。報告会終了後に情報交換会予定。詳細は後日連絡する。

・1月25日（水）18：30～報告書冊子の梱包作業予定 →人数限定で予定

3) 「第5回タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会」について

・日時：令和5年2月19日（日）9：30～17：30（受付9：00～）

・場所：おきなわクリニカルジョンセンター（301+302、109、110、103+104）

・1月8日現在：申込者数5名（今日で8名）（残り55名）、座学履修済者42名、受講中122名

前回の様に、ぎりぎりまで人数確保で来ていない状態になると開催が安定してできない。理事の皆様

は自施設もしくは周りの方々へ早めの案内をお願いしたい。

- ・第6回：4月29日（土）、第7回：7月16日（日）、第8回：5年9月23日（土）予定。
4月からは県またぎでの受講も可能となる。連休などは県外からの参加も期待できるが、毎回の人数の確保が課題である。

4) 沖縄技創立70周年記念式典・祝賀会について

- ・日時：令和5年7月1日（土）（翌日の2日に県学会予定）
- ・式典：16：30～17：30 新年会・祝賀会：18：00～20：00
- ・場所：ノボテル沖縄那覇（予定）・・・日時のみ変更、そのままスライドする。
- ・宮島会長・丸田副会長は参加依頼済み。会長・副会長には翌日の県学会での講演も依頼する。
- ・島尻あい子衆議院議員への招待も予定している。
- ・山城副会長を中心に記念誌の作成を予定（プロジェクトチームを結成）。挨拶文などの依頼をしてくれなくてはならない。

5) 地域リーダー育成研修会

- ・日時：令和5年3月4日（土）～5日（日）、場所：L stay & grow 晴海
- ・事前Web研修：令和5年2月25日（土）13～17時
- ・リーダーの田盛事務局長・次点の金城理事の都合悪く、3番手の登川理事に参加してもらうことになった。
- ・5年計画の研修計画で3年かけて3人の研修を行うプラン。
- ・研修後は県内の若手を集めて地域ニューリーダー研修を開催できるようにする。

6) ひまわり奨学金

- ・今回申請者なし。ハードルが高かったか（年収500万円を400万円に下げる必要がある？）。年度内に委員会を開いて規定内容を見直す予定。

2. 九州支部より

1) 令和4年度第3回九州支部内連絡会議・支部幹事会

- ・日時：令和5年2月1日（水）
18：00～18：40 学術奨励賞選考会（幹事のみ参加）
18：50～19：30 九州支部内連絡会議（各県役員参加）
19：30～20：00 九州支部幹事会（幹事のみ参加）

（手登根会長より）

※18：50分からの支部連絡会議には三役は参加してもらいたい。

※九州支部に対する要望・意見があれば手登根会長まで。

3. 日臨技より

- ・特になし

4. 沖縄県臨床検査技師連盟より

- ・連盟ニュース第159号：九州ブロック活動報告
- ・12月24日：宮崎政久衆議院議員「激励の集い」参加（瀬戸）
- ・1月7日：島尻あい子衆議院議員「新春の集い」参加（瀬戸、手登根、松川）
- ・1月9日：国場幸之助衆議院議員「新春の集い」参加（瀬戸、手登根）

(瀬戸支部局長より)

・三師届けという 医者・歯科医師・薬剤師と保健師・助産師・看護師に対して 2 年に一度の届出義務がある。6 年ほど前から保健師・助産師・看護師・歯科衛生士・歯科技工士が医療従事者として追加されている。日臨技から厚労省に臨床検査技師・放射線技師・栄養士などの医療従事者が入っていないのは問題ではないかと要望を出している。連盟からも要望を出したい。理事の意見を聞きたい。→満場一致で了承を得た。

・連盟の活動を理事の方と一緒にやりたい。できれば若手から。臨床検査技師の認知度を上げ地位向上をめざす。

→金城理事・我如古理事に協力していただきたいと声が上がった(我如古理事の了承は得られたが、金城理事は私事により今回は辞退したいとのこと)。

(手登根会長より)

・ワクチン接種に関して県議会で質問をしていただいた島尻忠明県議より、何か要望はないかとの声かけもあり臨床検査技師会と議員とのパイプもできつつある。

・色んな会合に頻繁に顔を出すことで、臨床検査技師を認知してもらうことができる。瀬戸連盟支部長がコツコツと活動していただいたお蔭で認知度も高まってきている。若い人に是非繋いでいただきたい。我如古理事には是非頑張ってください。

5. 会計報告

・12月分報告あり。

・佐藤乙一先生への弔電(最高級の台紙)に約1万5千円、事務員への臨時手当を昨年同様支給した。

6. その他

1) 医師会より抗原検査の検査依頼：今週連休から参加している。

(国仲理事より報告)

・検査時間を10分でやって欲しいと医師より希望があったが、検査の手際や精度を保証するために臨床検査技師が行っているわけであり、取説には15分～30分と記載してある検査を10分でやることはリスクが大きい。基本は15分で判定するべきである。(陽性の場合には10分以内でも問題はない)判定線が薄い場合もあるため技師でダブルチェックが必要。

→次回からその運用で行う(田盛事務局長が作成したマニュアルを修正)。

2) AVSS からも検査技師の派遣依頼

・県からの依頼でうるま市にPCR検査センターを立ち上げる予定とのこと。主に平日となるためOBにも協力依頼予定。平日休みが取れる理事は是非協力して欲しい(AVSSから具体的な日時が届き次第連絡する)。

3) 衛生検査所立入検査について

(金城理事より)

・那覇市の衛生検査所の検査に金城理事が査察予定。今回4施設行く予定。どこを重点に見るかなどのチェックリストがあり、各施設の改善点などにつながる内容であると考え。査察後は皆にフィードバックできるようにしたい。

(山内理事より)

・沖縄県保健所の立入検査担当。今回はうるま市・OIST・琉大などの衛生検査所の検査予定
今回は特にCOVIDの検査に限定した検査チェック表を県担当者と作成した
それを用いて重点的に検査を実施する予定

4) コロナとインフルの動向について

(宮里副会長より)

・中部病院では同時検査できるキットが中心になりインフル単独のキットが手に入りにくくなっている。インフルもみなし陽性で対応する案もでていたりする。今後も患者数は増大すると見込んでいる。

(山内副会長より)

・琉大でもインフルのキット供給が少なくなっている。琉大病院ではインフルエンザ抗原とコロナPCRで運用を進めており、抗原同時測定キットは利用していないインフルの検査キットの供給が厳しくなっていることから、来週からは検査が難しくなる可能性もあり。

5) 災害マニュアルについて

(牧志理事より)

・災害のマニュアル作成について。2月16日マニュアル研修会(Web)予定。内容では県より2名参加する形になる

→牧志理事に加え仲宗根理事にも担当して頂くことになった。

次回、令和4年度第11回理事会：令和5年2月8日(水)19:00～ 現地+Web開催の予定

令和5年1月11日

文責：登川 雅子